令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工 業	科　目	工業技術基礎（建築に関する内容）	単位数	3
対象学年・組・コース	第　1　年　1　組	コース	自動車　電気　建築		
教科担当者					
使用教科書	工業技術基礎（実教出版）				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　工業技術基礎　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業技術について工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	工業技術に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業技術に関する広い視野をもつことを目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
建築：1ローテーション目	単元名 「基礎製図」 【知】JISの「製図総則」，「建築製図通則」などの製図規約を理解し、共通理解のために誤りのない図面をかくことに意欲的に取り組むとともに、実践的な知識・技能を身につけている。 【思】JISの「製図総則」，「建築製図通則」などの製図規約の重要性を思考・判断し，共通理解のために誤りのない図面をかくことに意欲的に取り組むとともに、実践的な表現力を身につけている。 【態】JISの「製図総則」，「建築製図通則」などの製図規約に興味・関心を持ち，共通理解のために誤りのない図面をかくことに意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	「基礎製図」 ①製図用具と使い方 ・平行定規の取扱い ・製図器の取扱い ・筆記具の取扱い ・その他の用具の取扱い ②製図文字の練習 ・ひらがな ・カタカナ ・漢字 ・数字，英字 ・文字の大きさと間隔 ③線の練習 ・水平線 ・垂直線 ・斜線 ・実線 ・破線 ・一点鎖線 ・線の納め方	【知】・製図用具の種類や基本的な使い方を理解し、用具の特質を生かした正しい使い方ができる実践的な知識・技能を身につけている。 ・製図の基本である線と文字の表し方やかき方を身につけ、正確で美しい線や文字を表すことに意欲的に取り組む知識・技能を身につけている。 【思】・製図用具の種類や基本的な使い方について適切に思考・判断し，用具の特質を生かした正しい使い方ができる実践的な行動力を身につけている。 ・製図の基本である線と文字の表し方やかき方について適切に思考・判断し，正確で美しい線や文字の表現方法を身につけている。 【態】・製図用具の種類や基本的な使い方に興味・関心をもち，用具の特質を生かした正しい使い方ができる実践的な態度を身につけている。 ・製図の基本である線と文字の表し方やかき方について興味・関心をもち，正確で美しい線や文字を表すことに意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	18
建築：2ローテーション目	単元名 「木造平屋建て専用住宅意匠模型」 【知】材料の取扱い、加工方法、接着材の用い方を理解するとともに，模型製作に用いる実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】材料の取扱い、加工方法、接着材の用い方を常に思考・判断するとともに、模型製作における実践的な行動力を身につけさせる。 【態】材料の取扱い、加工方法、接着材の用い方に興味・関心を持ち、模型製作技術の習得および適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「展示用模型」 ・スチレンボードの加工法 ・スチレンボンドの取扱い ・外壁の接合部の加工 ・開口部の作成 ・外構部品の作成	【知】材料の取扱い、加工方法、接着材の用い方を理解するとともに，模型製作に用いる実践的な知識・技術を身につけている。 【思】材料の取扱い、加工方法、接着材の用い方を常に思考・判断するとともに、模型製作における実践的な行動力を身につけている。 【態】材料の取扱い、加工方法、接着材の用い方に興味・関心を持ち、模型製作技術の習得および適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけている。				15

［表記の略称］知識･技能【知】、思考･判断･表現【思】、主体的に学習に取り組む態度【態】

各班	33
3ローテ合計	99

（備考）工業技術基礎は自動車・電気・建築の内容を取り扱い、それぞれのコースにて教科担当者が異なる。
1年1組のクラスを３展開（自動車・電気・建築）し、1ローテにつき4～6回程度を目安に同一の内容を取り扱う。

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工 業	科　目	工業情報数理	単位数	2
対象学年・組・コース	第　1　年　1　組	コース	~~自動車~~　~~電　気~~　~~建　築~~		
教科担当者					
使用教科書	工業情報数理(実教出版)				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　工業情報数理　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報技術の進展と情報の意義や役割、数値処理の理論を理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	情報化の進展が与える影響に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応、解決する力を養う。	情報技術、情報手段や数値処理を活用する力の向上を目指して自ら学び、その発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	１．産業社会と情報技術	①コンピュータ誕生までの歴史と５大装置、情報モラル、セキュリティ	①コンピュータの歴史と使用にあたっての注意を理解する。【知】 ①コンピュータの未来と使用にあたっての注意を実践できる。【思】 ①授業に対する取り組み、姿勢【態】	○	○	○	30
	定期考査						
	２．コンピュータシステム	①ソフトウェアの種類と役割、２進数１６進数の計算	①ソフトウェアの役割と2進数１６進数の計算を理解する。【知】 ①課題に対してソフトの選択ができ、応用計算問題を解くことができる。【思】 ①授業に対する取り組み、姿勢【態】				
	定期考査						
2学期	２．コンピュータシステム	②論理回路	②論理回路を理解する。【知】 ②論理回路の応用問題を解くことができる。【思】 ②授業に対する取り組み、姿勢【態】				30
	定期考査						
	３．アルゴリズムとプログラミング	①プログラミング言語と基本的なアルゴリズム	①プログラミング言語と基本的なプログラム作成を理解する。【知】 ①応用問題に対してプログラムを作成できる。【思】 ①授業に対する取り組み、姿勢【態】				
	定期考査						
3学期	４．数値処理とグラフィックデザイン	①コンピュータを活用した数値処理	①グラフ等でわかりやすく表現するための数値処理を理解する。【知】 ①どのように表現すれば伝わるかを考え、資料を作成できる。【思】 ①授業に対する取り組み、姿勢【態】				15
							合計
	定期考査						75

［表記の略称］知識･技能【知】、思考･判断･表現【思】、学びに向かう力、人間性等【学】

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工 業	科　目	実習	単位数	3
対象学年・組・コース	第　2　年　1　組	コース	自動車　電気　建築		
教科担当者					
使用教科書	なし				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　実習　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	工業の各分野の技術に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名「レベル測量」 【知】レベル測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、視準と標尺の読み取り，野帳の記入方法を理解するとともに，レベル測量に用いる実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】レベル測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、視準と標尺の読み取り，野帳の記入方法に常に思考・判断するとともに、レベル測量における実践的な行動力を身につけさせる。 【態】レベル測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、視準と標尺の読み取り，野帳の記入方法に興味・関心を持ち、レベル測量に関する知識・技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「歩測・距離測量」 ・歩幅の把握 ・巻尺の扱い方，読み取り方 「レベル測量」 ・レベル測量の概要 ・据え付け，整準 ・視準 ・標尺の読み取り ・敷地の水準測量 ・野帳の記入	【知】レベル測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、視準と標尺の読み取り，野帳の記入方法を理解するとともに，レベル測量に用いる実践的な知識・技術を身につけている。 【思】レベル測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、視準と標尺の読み取り，野帳の記入方法に常に思考・判断するとともに、レベル測量における実践的な行動力を身につけている。 【態】レベル測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、視準と標尺の読み取り，野帳の記入方法に興味・関心を持ち、レベル測量に関する知識・技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	18
	単元名「セオドライト測量」 【知】セオドライト測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、測角の方法，測角誤差の点検と調整を理解するとともに，セオドライト測量に用いる実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】セオドライト測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、測角の方法，測角誤差の点検と調整に常に思考・判断するとともに、セオドライト測量における実践的な行動力を身につけさせる。 【態】セオドライト測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、測角の方法，測角誤差の点検と調整に興味・関心を持ち、セオドライト測量に関する知識・技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「セオドライト測量」 ・据え付け ・水平角の測定 （単測法、倍測法） ・閉合トラバース測量 ・測角誤差の点検と調整	【知】セオドライト測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、測角の方法，測角誤差の点検と調整を理解するとともに，セオドライト測量に用いる実践的な知識・技術を身につけている。 【思】セオドライト測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、測角の方法，測角誤差の点検と調整に常に思考・判断するとともに、セオドライト測量における実践的な行動力を身につけている。 【態】セオドライト測量で用いる器具の取扱い、すえつけ、測角の方法，測角誤差の点検と調整に興味・関心を持ち、セオドライト測量に関する知識・技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。				18
2学期	単元名「木造加工」 【知】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方を理解するとともに，木材加工に用いる実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方を常に思考・判断するとともに，木材加工における実践的な行動力を身につけさせる。 【態】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方に興味・関心を持ち、木材加工技術の習得および適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「旧大工技能検定３級課題」 ・墨付け作業 ・両刃のこぎりを用い方 ・鑿および玄翁の用い方 ・木材の切断、ほぞの作成	【知】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方を理解するとともに，木材加工に用いる実践的な知識・技術を身につけている。 【思】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方を理解するとともに，木材加工を常に思考・判断するとともに、木材加工における実践的な行動力を身につけている。 【態】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方に興味・関心を持ち、木材加工技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。				21
	単元名「ＪＷ－ＣＡＤ」 【知】CADの概要・特色、活用例、操作方法、CADの適切な表現を理解するとともに、実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】CADの概要・特色、活用例を常に思考・判断するとともにCADの適切な表現における実践的な行動力を身につけさせる。 【態】CADの概要・特色、活用例に興味・関心を持ち、操作方法の習得およびCADの適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「木造軸組模型の図面作成」 ・建築CADの種類 ・JW-CADの基本 ・作図の練習 ・レイヤ・レイヤグループ ・平面図の作成 ・基礎伏図の作成 ・床伏図の作成 ・軸組図（東西南北）の作成 ・小屋伏図の作成	【知】CADの概要・特色、活用例、操作方法、CADの適切な表現を理解するとともに、実践的な知識・技術を身につけている。 【思】CADの概要・特色、活用例を常に思考・判断するとともにCADの適切な表現に実践的な行動力を身につけている。 【態】CADの概要・特色、活用例に興味・関心を持ち、操作方法の習得およびCADの適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけている。				21
3学期	単元名「木造軸組模型」 【知】材料の取扱い、手加工、接着材の用い方を理解するとともに，模型製作に用いる実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】材料の取扱い、手加工、接着材の用い方を常に思考・判断するとともに、模型製作における実践的な行動力を身につけさせる。 【態】材料の取扱い、手加工、接着材の用い方に興味・関心を持ち、模型製作技術の習得および適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「木造軸組模型（1/20）の作成」 ・模型材料の加工法 ・木工用ボンドの取扱い ・部材名称の確認 ・床組の作成 ・軸組（東西南北）の作成 ・小屋組の作成	【知】模型材料の取扱い、手加工、接着材の用い方を理解するとともに，模型製作に用いる実践的な知識・技術を身につけている。 【思】模型材料の取扱い、手加工、接着材の用い方を常に思考・判断するとともに、模型製作に用いる実践的な行動力を身につけている。 【態】模型材料の取扱い、手加工、接着材の用い方に興味・関心を持ち、模型製作技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。				27
［表記の略称］知識･技能【知】、思考･判断･表現【思】、主体的に学習に取り組む態度【態】							105

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工 業	科　目	建築製図	単位数	2
対象学年・組・コース	第　2　年　1　組	コース	自動車　電気　建築		
教科担当者					
使用教科書	建築設計製図(実教出版)				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　建築製図　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	製作図や設計図に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名「製図の基本」 【知識及び技能】 製図用具の使い方や製図規約について理解し、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 製図用具の使い方や製図規約について課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 製図用具の使い方や製図規約について自ら学び、取組む態度を養う。	①製図用具と使い方 ②線の練習・文字の練習 ③平面表示記号	・製図道具の使い方を理解し、建築製図における線や製図文字を正しく描くことができる。【知】 ・製図道具を用いた正確で美しい線や文字の表現方法を身につけている。【思】 ・正確で美しい線や文字を表すために反復練習をするなど、意欲的に取り組む態度を身につけている。【態】	○	○	○	24
	定期考査						
	単元名「平面図の作図」 【知識及び技能】 平面図の作図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 平面図の作図について課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面図の作図について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・平面図（1：50）	・平面図の表示方法、内容とかき方を理解するとともに、図面にかき込む要素を理解し習得している。【知】 ・平面図の要点を常に思考・判断し，平面図の作図手順の理解に意欲的に取り組む行動力を身につけている。【思】 ・平面図の作図に興味・関心をもち，作図手順の理解や表現技法の向上に意欲的に取り組む態度を身についている。【態】				
	定期考査						
2学期	単元名「断面図の作図」 【知識及び技能】 断面図の作図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 断面図の作図について課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 断面図の作図について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・断面図（1：50）	・断面図の表示方法、内容とかき方を理解するとともに、図面にかき込む要素を理解し習得している。【知】 ・断面図の要点を常に思考・判断し，断面図の作図手順の理解に意欲的に取り組む行動力を身につけている。【思】 ・断面図の作図に興味・関心をもち，作図手順の理解や表現技法の向上に意欲的に取り組む態度を身についている。【態】				
	定期考査						
	単元名「立面図の作図」 【知識及び技能】 立面図の作図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 立面図の作図について課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 立面図の作図について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・立面図（1：50）	・立面図の表示方法、内容とかき方を理解するとともに、図面にかき込む要素を理解し習得している。【知】 ・立面図の要点を常に思考・判断し，立面図の作図手順の理解に意欲的に取り組む行動力を身につけている。【思】 ・立面図の作図に興味・関心をもち，作図手順の理解や表現技法の向上に意欲的に取り組む態度を身についている。【態】				28
	定期考査						
3学期	単元名「レイアウトを伴う図面作成」 【知識及び技能】 用紙の大きさと各図のレイアウトについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 用紙の大きさと各図のレイアウトについて課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 用紙の大きさと各図のレイアウトについて自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・平面図（1：100） ・断面図（1：100） ・立面図（1：100） ・図面レイアウト	・用紙の大きさと各図のレイアウトを理解するとともに、各図の大きさと作図位置の理解し習得している。【知】 ・用紙の大きさと各図のレイアウトを常に思考・判断し，各図の大きさと作図位置の理解に意欲的に取り組む行動力を身につけている。【思】 ・用紙の大きさと各図のレイアウトに興味・関心をもち，各図の大きさと作図位置の理解に意欲的に取り組む態度を身についている。【態】				18
	定期考査						

［表記の略称］知識･技能【知】、思考･判断･表現【思】、主体的に学習に取り組む態度【態】

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工　業	科　目	建築構造	単位数	2
対象学年・組・コース	第　2　年　1　組	コース	自動車　電気　建築		
教科担当者					
使用教科書	建築構造(実教出版)				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力､判断力､表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力､人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　建築構造　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築構造について荷重に対する安全性や材料の特性を踏まえて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	建築物の構造や建築材料に関する課題を発見し、技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	安全で安心な建築物の構造を実現する力の向上を目指して自ら学び、建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**第2章　木構造** 【知】木構造の特徴、木材の性状、用途を考慮した構造用材・化粧材を適材適所に用いることを理解させる。 【思】木構造の特徴、木材の性状、用途を考慮した構造用材・化粧材を適材適所に用いることについて思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】木構造の特徴、木材の性状、用途を考慮した構造用材・化粧材を適材適所に用いることに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第2章　木構造** 第１節　構造の特徴と構造形式 第２節　木材	【知】組立て方の違いによる構造形式の特徴をはじめ、様々な生産方法による木材の性質の違いなどを理解している。 【思】組立て方の違いによる構造形式の特徴をはじめ、様々な生産方法による木材の性質の違いなどについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】組立て方の違いによる構造形式の特徴をはじめ、様々な生産方法による木材の性質の違いなどに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				12
	第3章　鉄筋コンクリート構造 【知】コンクリートおよび鉄筋の性質と鉄筋コンクリート構造の長所・短所を理解させる。 【思】コンクリートおよび鉄筋の性質と鉄筋コンクリート構造の長所・短所について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】コンクリートおよび鉄筋の性質と鉄筋コンクリート構造の長所・短所について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第3章　鉄筋コンクリート構造** 第１節　構造の特徴と構造形式 第２節　鉄筋	【知】コンクリートと鉄筋が一体となった複合材料であること、鉄筋や溶接金網の形状・寸法・機械的性質を理解している。 【思】コンクリートと鉄筋が一体となった複合材料であること、鉄筋や溶接金網の形状・寸法・機械的性質について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】コンクリートと鉄筋が一体となった複合材料であること、鉄筋や溶接金網の形状・寸法・機械的性質について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				
	定期考査						1
	第2章　木構造 【知】継手・仕口による接合の名称・形状・適用場所と補強法、地盤の補強方法と基礎の種類に応じた特徴について理解させる。 【思】継手・仕口による接合の名称・形状・適用場所と補強法、地盤の補強方法と基礎の種類に応じた特徴について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】継手・仕口による接合の名称・形状・適用場所と補強法、地盤の補強方法と基礎の種類に応じた特徴について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第2章　木構造** 第３節　木材の接合 第４節　基礎	【知】木材の接合方法に関する名称・形状・対応する応力の種類および建築物の支持地盤の違いに応じた地業・基礎について理解している。 【思】木材の接合方法に関する名称・形状・対応する応力の種類および建築物の支持地盤の違いに応じた地業・基礎などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】木材の接合方法に関する名称・形状・対応する応力の種類および建築物の支持地盤の違いに応じた地業・基礎などに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				12
	第3章　鉄筋コンクリート構造 【知】コンクリートの材料、フレッシュコンクリートの性質および硬化後のコンクリートの強度や品質、自重に応じた基礎の特徴について理解させる。 【思】コンクリートの材料、フレッシュコンクリートの性質および硬化後のコンクリートの強度や品質、自重に応じた基礎の特徴について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】コンクリートの材料、フレッシュコンクリートの性質および硬化後のコンクリートの強度や品質、自重に応じた基礎の特徴について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第3章　鉄筋コンクリート構造** 第３節　コンクリート 第４節　基礎	【知】フレッシュコンクリートの性質および硬化後のコンクリートの強度や品質、他の構造物との基礎の違いについて理解している。 【思】フレッシュコンクリートの性質および硬化後のコンクリートの強度や品質、他の構造物との基礎の違いについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】フレッシュコンクリートの性質および硬化後のコンクリートの強度や品質、他の構造物との基礎の違いについて関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的取り組む態度を身につけている。				
	定期考査						1
2学期	**第2章　木構造** 【知】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法について理解させる。 【思】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第2章　木構造** 第５節　軸組	**【知】柱の取り合わせによる軸組の区別と軸組を構成する部材名称・役割・寸法・材種・接合方法と補強法について理解している。** **【思】柱の取り合わせによる軸組の区別と軸組を構成する部材名称・役割・寸法・材種・接合方法と補強法などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。** **【学】柱の取り合わせによる軸組の区別と軸組を構成する部材名称・役割・寸法・材種・接合方法と補強法などに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。**				
	第3章　鉄筋コンクリート構造 **【知】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法および内外の環境に配慮した仕上げについて理解させる。** **【思】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法および内外の環境に配慮した仕上げについて思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。** **【学】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法および内外の環境に配慮した仕上げについて関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。**	**第3章　鉄筋コンクリート構造** 第５節　躯体 第６節　仕上げ	【知】建築物の規模や用途に応じた主要な躯体の断面寸法、鉄筋の配置、躯体と仕上げ材の構成、地震や防水に配慮した仕上げについて理解している。 【思】建築物の規模や用途に応じた主要な躯体の断面寸法、鉄筋の配置、躯体と仕上げ材の構成、地震や防水に配慮した仕上げについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】建築物の規模や用途に応じた主要な躯体の断面寸法、鉄筋の配置、躯体と仕上げ材の構成、地震や防水に配慮した仕上げについて関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的取り組む態度を身につけている。	○	○	○	13
	定期考査						1
	第2章　木構造 【知】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法について理解させる。 【思】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第2章　木構造** 第６節　小屋組 第７節　床組	**【知】屋根の形状の種類、屋根勾配、小屋組の特徴と構成部材や材種、接合方法と補強法および床組部材の名称・役割・大きさ・材種・床仕上げに応じた床組みの設計について理解している。** **【思】屋根の形状の種類、屋根勾配、小屋組の特徴と構成部材や材種、接合方法と補強法および床組部材の名称・役割・大きさ・材種・床仕上げに応じた床組みの設計について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。** **【学】屋根の形状の種類、屋根勾配、小屋組の特徴と構成部材や材種、接合方法と補強法および床組部材の名称・役割・大きさ・材種・床仕上げに応じた床組みの設計に関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。**				
	第4章　鋼構造 **【知】鋼構造の特徴、鋼材の性質、形鋼の名称と形状の概略、鋼材の主な接合方法の特徴について理解させる。** **【思】鋼構造の特徴、鋼材の性質、形鋼の名称と形状の概略、鋼材の主な接合方法の特徴について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。** **【学】鋼構造の特徴、鋼材の性質、形鋼の名称と形状の概略、鋼材の主な接合方法の特徴について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。**	**第4章　鋼構造** 第１節　構造の特徴と構造形式 第２節　鋼と鋼材 第３節　鋼材の接合	【知】構造形式、鋼の機械的性質、形鋼の名称・形状、高力ボルト接合、ボルト接合、溶接接合、溶接部に応じた開先加工の名称と形状について理解している。 【思】構造形式、鋼の機械的性質、形鋼の名称・形状、高力ボルト接合、ボルト接合、溶接接合、溶接部に応じた開先加工の名称と形状について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】構造形式、鋼の機械的性質、形鋼の名称・形状、高力ボルト接合、ボルト接合、溶接接合、溶接部に応じた開先加工の名称と形状について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的取り組む態度を身につけている。				13
	定期考査						1
3学期	**第2章　木構造** 【知】建築基準法に適合した各部位の性能、外部環境及び内部環境に応じた仕上げおよび構造法について理解させる。 【思】建築基準法に適合した各部位の性能、外部環境及び内部環境に応じた仕上げおよび構造法について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】建築基準法に適合した各部位の性能、外部環境及び内部環境に応じた仕上げおよび構造法について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第2章　木構造** 第８節　階段 第９節　外部仕上げ 第10章　内部仕上げ	**【知】階段の形状、安全性、階段の部材名称、役割、寸法および仕上げと下地材のしくみ、外観・耐久性・耐火性を考慮した木造建築物の仕上げについて理解している。** **【思】階段の形状、安全性、階段の部材名称、役割、寸法および仕上げと下地材のしくみ、外観・耐久性・耐火性を考慮した木造建築物の仕上げに応じた床組みの設計について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。** **【学】階段の形状、安全性、階段の部材名称、役割、寸法および仕上げと下地材のしくみ、外観・耐久性・耐火性を考慮した木造建築物の仕上げに応じた床組みの設計に関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。**				
	第4章　鋼構造 **【知】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法および内外の環境に配慮した仕上げについて理解させる。** **【思】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法および内外の環境に配慮した仕上げについて思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。** **【学】骨組の構造法、構造計画のあり方から詳細な接合、補強の方法および内外の環境に配慮した仕上げについて関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。**	**第4章　鋼構造** 第４節　基礎と柱脚 第５節　骨組 第６節　仕上げ	【知】柱脚の形式、骨組みの構成と部材名称、使用する形鋼・材料、耐火被覆、他の構造と共通する仕上げ方法について理解している。 【思】柱脚の形式、骨組みの構成と部材名称、使用する形鋼・材料、耐火被覆、他の構造と共通する仕上げ方法について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】柱脚の形式、骨組みの構成と部材名称、使用する形鋼・材料、耐火被覆、他の構造と共通する仕上げ方法について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的取り組む態度を身につけている。				15
	定期考査						1
						合計	70

［表記の略称］知識･技能【知】､思考･判断･表現【思】、学びに向かう力､人間性等【学】主体的に学習に取り組む態度【態】

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工 業	科　目	実習	単位数	3
対象学年・組・コース	第　3　年　1　組	コース	~~自動車~~　~~電気~~　建築		
教科担当者					
使用教科書	なし				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力､判断力､表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力､人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　実習　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する技術を実際の作業に即して総合的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	工業の各分野の技術に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業の各分野に関する技術の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名「ＪＷ－ＣＡＤ」 【知】CADの概要・特色、活用例、操作方法、CADの適切な表現を理解するとともに、実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】CADの概要・特色、活用例を常に思考・判断するとともにCADの適切な表現における実践的な行動力を身につけさせる。 【態】CADの概要・特色、活用例に興味・関心を持ち、操作方法の習得およびCADの適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「木造平屋建平面図の作成」 ・建築CADの種類 ・JW-CADの基本 ・作図の練習 ・レイヤ・レイヤグループ ・平面図の作成	【知】CADの概要・特色、活用例、操作方法、CADの適切な表現を理解するとともに、実践的な知識・技術を身につけている。 【思】CADの概要・特色、活用例を常に思考・判断するとともCADの適切な表現に実践的な行動力を身につけている。 【態】CADの概要・特色、活用例に興味・関心を持ち、操作方法の習得およびCADの適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	18
	単元名「木造軸組模型」 【知】材料の取扱い、手加工、接着材の用い方を理解するとともに，模型製作に用いる実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】材料の取扱い、手加工、接着材の用い方を常に思考・判断するとともに、模型製作における実践的な行動力を身につけさせる。 【態】材料の取扱い、手加工、接着材の用い方に興味・関心を持ち、模型製作技術の習得および適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「木造軸組模型（1/20）の作成」 ・模型材料の加工法 ・木工用ボンドの取扱い ・部材名称の確認 ・床組の作成 ・軸組（東西南北）の作成 ・小屋組の作成	【知】模型材料の取扱い、手加工、接着材の用い方を理解するとともに，模型製作に用いる実践的な知識・技術を身につけている。 【思】模型材料の取扱い、手加工、接着材の用い方を常に思考・判断するとともに、模型製作に用いる実践的な行動力を身につけている。 【態】模型材料の取扱い、手加工、接着材の用い方に興味・関心を持ち、模型製作技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。				18
2学期	単元名「木造加工」 【知】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方を理解するとともに，木材加工に用いる実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方を常に思考・判断するとともに，木材加工における実践的な行動力を身につけさせる。 【態】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方に興味・関心を持ち、木材加工技術の習得および適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「旧大工技能検定３級課題」 ・墨付け作業 ・両刃のこぎりを用い方 ・鑿および玄翁の用い方 ・木材の切断、ほぞの作成	【知】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方を理解するとともに，木材加工に用いる実践的な知識・技術を身につけている。 【思】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方を理解するとともに，木材加工を常に思考・判断するとともに、木材加工における実践的な行動力を身につけている。 【態】木材の取扱い、手工具、木材の刻み方に興味・関心を持ち、木材加工技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。				21
	単元名「施工実習」 【知】労災の発生と防止、保護具の扱い、足場の組立等を理解するとともに，安全に足場の組立等ができる実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】労災の発生と防止、保護具の扱い、足場の組立等を常に思考・判断するとともに、足場の組立等における実践的な行動力を身につけさせる。 【態】労災の発生と防止、保護具の扱い、足場の組立等に興味・関心を持ち、足場の組立等に必要な技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「枠組足場の作成・解体」 ・関係法令に基づいた安全教育 ・保護具の装着方法 ・緊結金具の取り扱い ・とび技能検定基礎級課題 ・枠組足場の作成	【知】労働災害の発生と防止、保護具の取り扱い、足場の組立等を理解するとともに，安全第一に足場の組立等ができる実践的な知識・技術を身につけている。 【思】労働災害の発生と防止、保護具の取り扱い、足場の組立等を常に思考・判断するとともに、足場の組立等における実践的な行動力を身につけている。 【態】労働災害の発生と防止、保護具の取り扱い、足場の組立等に興味・関心を持ち、足場の組立等に係る技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。				21
3学期	単元名「環境工学実験」 【知】音および光環境の基準、測定器具の取扱い、測定結果の取扱い方を理解するとともに，居住環境の健康性と快適性をはかる実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思】音および光環境の基準、測定器具の取扱い、測定結果の取扱い方を常に思考・判断するとともに、居住環境の健康性と快適性をはかる実践的な行動力を身につけさせる。 【態】音および光環境の基準、測定器具の取扱い、測定結果の取扱い方に興味・関心を持ち、居住環境の健康性と快適性をはかる知識・技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	単元名「環境工学実験」 ・騒音測定 ・人工照明による作業面照度の測定 ・教室の照明環境の測定	【知】音および光環境の基準、測定器具の取扱い、測定結果の取扱い方を理解するとともに，居住環境の健康性と快適性をはかる実践的な知識・技術を身につけている。 【思】音および光環境の基準、測定器具の取扱い、測定結果の取扱い方を常に思考・判断するとともに、居住環境の健康性と快適性をはかる実践的な行動力を身につけている。 【態】音および光環境の基準、測定器具の取扱い、測定結果の取扱い方に興味・関心を持ち、居住環境の健康性と快適性をはかる知識・技術の習得に意欲的に取り組む態度を身につけている。				27

［表記の略称］知識･技能【知】、思考･判断･表現【思】、主体的に学習に取り組む態度【態】

105

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工 業	科　目	建築製図	単位数	2
対象学年・組・コース	第　3　年　1　組	コース	自動車　電気　建築		
教科担当者					
使用教科書	建築設計製図(実教出版)				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　建築製図　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	製作図や設計図に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名「製図の基本」 【知識及び技能】 製図用具の使い方や製図規約について理解し、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 製図用具の使い方や製図規約について課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 製図用具の使い方や製図規約について自ら学び、取組む態度を養う。	①製図用具と使い方 ②線の練習・文字の練習 ③平面表示記号	・製図道具の使い方を理解し、建築製図における線や製図文字を正しく描くことができる。【知】 ・製図道具を用いた正確で美しい線や文字の表現方法を身につけている。【思】 ・正確で美しい線や文字を表すために反復練習をするなど、意欲的に取り組む態度を身につけている。【態】	○	○	○	24
	定期考査						
	単元名「平面図の作図」 【知識及び技能】 平面図の作図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 平面図の作図について課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面図の作図について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・平面図（1：50）	・平面図の表示方法、内容とかき方を理解するとともに、図面にかき込む要素を理解し習得している。【知】 ・平面図の要点を常に思考・判断し，平面図の作図手順の理解に意欲的に取り組む行動力を身につけている。【思】 ・平面図の作図に興味・関心をもち，作図手順の理解や表現技法の向上に意欲的に取り組む態度を身についている。【態】				
	定期考査						
2学期	単元名「断面図の作図」 【知識及び技能】 断面図の作図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 断面図の作図について課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 断面図の作図について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・断面図（1：50）	・断面図の表示方法、内容とかき方を理解するとともに、図面にかき込む要素を理解し習得している。【知】 ・断面図の要点を常に思考・判断し，断面図の作図手順の理解に意欲的に取り組む行動力を身につけている。【思】 ・断面図の作図に興味・関心をもち，作図手順の理解や表現技法の向上に意欲的に取り組む態度を身についている。【態】				
	定期考査						
	単元名「立面図の作図」 【知識及び技能】 立面図の作図について理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 立面図の作図について課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 立面図の作図について自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・立面図（1：50）	・立面図の表示方法、内容とかき方を理解するとともに、図面にかき込む要素を理解し習得している。【知】 ・立面図の要点を常に思考・判断し，立面図の作図手順の理解に意欲的に取り組む行動力を身につけている。【思】 ・立面図の作図に興味・関心をもち，作図手順の理解や表現技法の向上に意欲的に取り組む態度を身についている。【態】				28
	定期考査						
3学期	単元名「レイアウトを伴う図面作成」 【知識及び技能】 用紙の大きさと各図のレイアウトについて理解させ、関連する技術を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 用紙の大きさと各図のレイアウトについて課題を発見し、解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 用紙の大きさと各図のレイアウトについて自ら学び、取組む態度を養う。	指導項目 ・平面図（1：100） ・断面図（1：100） ・立面図（1：100） ・図面レイアウト	・用紙の大きさと各図のレイアウトを理解するとともに、各図の大きさと作図位置の理解し習得している。【知】 ・用紙の大きさと各図のレイアウトを常に思考・判断し，各図の大きさと作図位置の理解に意欲的に取り組む行動力を身につけている。【思】 ・用紙の大きさと各図のレイアウトに興味・関心をもち，各図の大きさと作図位置の理解に意欲的に取り組む態度を身についている。【態】				18
	定期考査						

［表記の略称］知識･技能【知】、思考･判断･表現【思】、主体的に学習に取り組む態度【態】

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工　業	科　目	建築構造設計	単位数	3
対象学年・組・コース	第　3　年　1　組	コース	自動車　電気　建築		
教科担当者					
使用教科書	建築構造設計(実教出版)				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力､判断力､表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力､人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　建築構造設計　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
構造物の設計について構造物の安全性を踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	構造物に関する力学的な課題を発見し，技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	安全で安心な構造物を設計する力の向上を目指して自ら学び，建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**第1章　構造物に働く力** 【知】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方を理解させ、求めた反力を的確に表現させる。 【思】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証させる。 【態】構造物を支える支点と反力に関心を持ち，その支点と反力の関係を考察しようと主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけさせる。	**第1章　構造物に働く力** 第４節　反力	【知】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方を理解させ、求めた反力を的確に表現することができる。 【思】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証することができる。 【学】構造物を支える支点と反力に関心を持ち，その支点と反力の関係を考察しようと主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。				12
	第2章　静定構造物の部材に生じる力 【知】静定梁の解法を理解しているとともに荷重の種類により生じた軸方向力・せん断力・曲げモーメントの関係を図で表現させる。 【思】静定梁の特徴、荷重とせん断力と曲げモーメントの関係に関する課題を見出すとともに科学的な根拠に基づき結果を検証させる。 【態】静定梁と荷重の種類に応じた解法に関心を持ち、主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけさせる。	**第2章　静定構造物の部材に生じる力** 第２節　静定梁	【知】静定梁の解法を理解しているとともに荷重の種類により生じた軸方向力・せん断力・曲げモーメントの関係を図で表現することができる。 【思】静定梁の特徴、荷重とせん断力と曲げモーメントの関係に関する課題を見出すとともに科学的な根拠に基づき結果を検証することができる。 【学】静定梁と荷重の種類に応じた解法に関心を持ち、主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。				
	定期考査						1
	第1章　構造物に働く力 【知】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方を理解させ、求めた反力を的確に表現させる。 【思】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証させる。 【態】構造物を支える支点と反力に関心を持ち，その支点と反力の関係を考察しようと主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけさせる。	**第1章　構造物に働く力** 第４節　反力	【知】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方を理解させ、求めた反力を的確に表現することができる。 【思】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証することができる。 【学】構造物を支える支点と反力に関心を持ち，その支点と反力の関係を考察しようと主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。				12
	第2章　静定構造物の部材に生じる力 【知】静定ラーメンの解法を理解しているとともに荷重の種類により生じた軸方向力・せん断力・曲げモーメントの関係を図で表現させる。 【思】静定ラーメンの特徴、荷重とせん断力と曲げモーメントの関係に関する課題を見出すとともに科学的な根拠に基づき結果を検証させる。 【態】静定ラーメンと荷重の種類に応じた解法に関心を持ち、主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけさせる。	**第2章　静定構造物の部材に生じる力** 第２節　静定ラーメン	【知】静定ラーメンの解法を理解しているとともに荷重の種類により生じた軸方向力・せん断力・曲げモーメントの関係を図で表現することができる。 【思】静定ラーメンの特徴、荷重とせん断力と曲げモーメントの関係に関する課題を見出すとともに科学的な根拠に基づき結果を検証することができる。 【学】静定ラーメンと荷重の種類に応じた解法に関心を持ち、主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。				
	定期考査						1
2学期	**第1章　構造物に働く力** 【知】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方を理解させ、求めた反力を的確に表現させる。 【思】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証させる。 【態】構造物を支える支点と反力に関心を持ち，その支点と反力の関係を考察しようと主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけさせる。	**第1章　構造物に働く力** 第４節　反力	【知】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方を理解させ、求めた反力を的確に表現することができる。 【思】構造物を支える支点に生じる反力と反力の求め方に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証することができる。 【学】構造物を支える支点と反力に関心を持ち，その支点と反力の関係を考察しようと主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。				
	第2章　静定構造物の部材に生じる力 【知】静定トラスの力学的特徴と種類、節点法と切断法による解法を理解しているとともに、部材に生じた軸方向力を図で表現させる。 【思】静定トラスの力学的特徴と力のつり合い条件を考え、部材に生じる力に課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証させる。 【態】静定トラスの力学的特徴と種類、節点法と切断法による解法に関心を持ち、主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけさせる。	**第2章　静定構造物の部材に生じる力** 第３節　静定トラス	【知】静定トラスの力学的特徴と種類、節点法と切断法による解法を理解しているとともに、部材に生じた軸方向力を図で表現することができる。 【思】静定トラスの力学的特徴と力のつり合い条件を考え、部材に生じる力に課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証することができる。 【学】静定トラスの力学的特徴と種類、節点法と切断法による解法に関心を持ち、主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	13
	定期考査						1
	第3章　断面の性質と応力度 【知】部材に関する断面の力学的性質を理解しているとともに断面一次モーメント・断面二次モーメント・断面係数・断面二次半径・断面の主軸を求めさせる。 【思】部材断面に生じる力と変形の関係に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証させる。 【態】部材の設計について自ら学び，安全で安心な構造物の設計ができるよう主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけさせる。	**第3章　断面の性質と応力度** 第１節　断面の性質	【知】部材に関する断面の力学的性質を理解しているとともに断面一次モーメント・断面二次モーメント・断面係数・断面二次半径・断面の主軸を求めることができる。 【思】部材断面に生じる力と変形の関係に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証することができる。 【学】部材の設計について自ら学び，安全で安心な構造物の設計ができるよう主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。				
	第3章　断面の性質と応力度 【知】部材断面に生じる応力度とひずみ度の関係、部材の強さの判定、弾性・塑性の概念、フックの法則を理解しているとともに部材断面に働く力と変形の関係を活用し、応力度、変形量および部材の強さを求めさせる。 【思】部材の強さや変形に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証させる。 【態】構造材料の力学的性質と応力度に関心を持ち，材料の強さについて主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけさせる。	**第3章　断面の性質と応力度** 第２節　構造材料の力学的性質	【知】部材断面に生じる応力度とひずみ度の関係、部材の強さの判定、弾性・塑性の概念、フックの法則を理解しているとともに部材断面に働く力と変形の関係を活用し、応力度、変形量および部材の強さを求めることができる。 【思】部材の強さや変形に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証することができる。 【学】構造材料の力学的性質と応力度に関心を持ち，材料の強さについて主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。				13
	定期考査						1
3学期	**第3章　断面の性質と応力度** 【知】曲げ材、引張材および圧縮材に生じる応力度についての理論と求める方法を理解しているとともに断面設計と安全性を判断させる。 【思】曲げ材、引張材および圧縮材に生じる応力度についての理論と求め方に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証させる。 【態】部材の断面設計に関心を持ち、部材に生じる応力度および部材の強さについて主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけさせる。	**第3章　断面の性質と応力度** 第３節　部材に生じる応力度	【知】曲げ材、引張材および圧縮材に生じる応力度についての理論と求める方法を理解しているとともに断面設計と安全性を判断することができる。 【思】曲げ材、引張材および圧縮材に生じる応力度についての理論と求め方に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証することができる。 【学】部材の断面設計に関心を持ち、部材に生じる応力度および部材の強さについて主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。				
	第3章　断面の性質と応力度 【知】梁の変形から不制定構造物を解くための基本概念が導き出されているとともに、モールの定理を活用し、たわみおよびたわみ角を求めさせる。 【思】たわみとたわみ角に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証させる。 【態】梁の変形に関心を持ち，不制定構造物を解くための基本原理について主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけさせる。	**第3章　断面の性質と応力度** 第４節　梁の変形	【知】梁の変形から不制定構造物を解くための基本概念が導き出されているとともに、モールの定理を活用し、たわみおよびたわみ角を求めることができる。 【思】たわみとたわみ角に関する課題を見出すとともに解決策を考え、科学的な根拠に基づき結果を検証することができる。 【態】梁の変形に関心を持ち，不制定構造物を解くための基本原理について主体的かつ協動的に取り組む態度を身につけている。				15
	定期考査						1
						合計	70

［表記の略称］知識･技能【知】､思考･判断･表現【思】、主体的に学習に取り組む態度【態】

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工　業	科　目	建築施工	単位数	2
対象学年・組・コース	第　3　年	1　組	コース	自動車　電気　建築	
教科担当者					
使用教科書	建築施工(実教出版)				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力､判断力､表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力､人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　建築施工　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の施工について安全性や環境への配慮を踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	建築物の施工に関する課題を発見し，技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	安全で安心な建築物を施工する力の向上を目指して自ら学び，建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**第8章　建築の業務** 【知】施工者の選定から契約、施工管理の流れを理解させる。 【思】施工者の選定から契約、施工管理の流れについて思考し，施工管理における適切な判断ができる能力を身につけさせる。 【学】施工者の選定から契約、施工管理の流れについて関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけさせる。	第8章　建築の業務 1. 工事契約 2. 現場組織の編成 3. 施工計画と施工管理	【知】施工者の選定から契約、施工管理の流れを理解している。 【思】施工者の選定から契約、施工管理の流れについて思考し，施工管理における適切な判断ができる能力を身につけている。 【学】施工者の選定から契約、施工管理の流れについて関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけている。	○	○	○	11
	第1章　工事の準備 【知】予備調査や仮設工事について知識と技術を身につけ、予備調査や仮設工事の意義や役割を理解させる。 【思】予備調査や仮設工事について思考し，予備調査や仮設工事における適切な判断ができる能力を身につけさせる。 【学】予備調査や仮設工事について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけさせる。	第1章　工事の準備 1. 地盤と敷地の調査・確認 2. 仮設工事	【知】予備調査や仮設工事について知識と技術を身につけ、予備調査や仮設工事の意義や役割を理解している。 【思】予備調査や仮設工事について思考し，施工や施工管理における適切な判断ができる能力を身につけている。 【学】予備調査や仮設工事について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけている。				
	定期考査						1
	第2章　地面から下の工事 【知】基礎および地下部分の構築に必要な土工事および杭・地業工事の概要と施工手順を理解させる。 【思】基礎および地下部分の構築に必要な土工事および杭・地業工事の概要と施工手順について思考し，施工管理における適切な判断ができる能力を身につけさせる。 【学】基礎および地下部分の構築に必要な土工事および杭・地業工事の概要と施工手順について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけさせる。	第2章　地面から下の工事 1. 土工事および杭・地業工事の種類と流れ 2. 土工事・山留め 3. 杭工事 4. 地業工事	【知】基礎および地下部分の構築に必要な土工事および杭・地業工事の概要と施工手順を理解している。 【思】基礎および地下部分の構築に必要な土工事および杭・地業工事の概要と施工手順について思考し，施工や施工管理における適切な判断ができる能力を身につけている。 【学】基礎および地下部分の構築に必要な土工事および杭・地業工事の概要と施工手順について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけている。				11
	第4章　鉄筋コンクリート構造の工事 【知】型枠・鉄筋・コンクリート工事における作業と品質管理（以下、「QC」）、安全対策について理解させる。 【思】型枠・鉄筋・コンクリート工事について思考し，施工や施工管理における適切な判断ができる能力を身につけさせる。 【学】型枠・鉄筋・コンクリート工事について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけさせる。	第4章　工事の準備 1. 鉄筋コンクリート工事	【知】型枠・鉄筋・コンクリート工事における作業とQC、安全対策について理解している。 【思】型枠・鉄筋・コンクリート工事について思考し，施工や施工管理における適切な判断ができる能力を身につけている。 【学】型枠・鉄筋・コンクリート工事について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけている。				
	定期考査						1
2学期	**第5章　鋼構造の工事** 【知】製作工場、工事現場における作業とQC、安全対策について理解させる。 【思】製作工場、工事現場における作業とQC、安全対策について思考し，施工や施工管理における適切な判断ができる能力を身につけさせる。 【学】製作工場、工事現場における作業とQC、安全対策について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけさせる。	第5章　鋼構造の工事 2. 骨組（柱と梁）	【知】製作工場、工事現場における作業とQC、安全対策について理解している。 【思】製作工場、工事現場における作業とQC、安全対策について思考し，施工や施工管理における適切な判断ができる能力を身につけている。 【学】製作工場、工事現場における作業とQC、安全対策について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけている。				
	第3章　木構造の工事 【知】部材等の製作工場や工事現場における作業、法令やJASS・JIS・JASになどの規格について理解させる。 【思】部材等の製作工場や工事現場における作業、法令やJASS・JIS・JASになどについて思考し，予備調査や仮設工事における適切な判断ができる能力を身につけさせる。 【学】部材等の製作工場や工事現場における作業、法令やJASS・JIS・JASになどについて関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけさせる。	第3章　木構造の工事 2. 在来工法の骨組 2. 枠組壁工法の躯体	【知】部材等の製作工場や工事現場における作業、法令やJASS・JIS・JASになどの規格について理解している。 【思】部材等の製作工場や工事現場における作業、法令やJASS・JIS・JASになどの規格について思考し，施工や施工管理における適切な判断ができる能力を身につけている。 【学】部材等の製作工場や工事現場における作業、法令やJASS・JIS・JASになどの規格について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけている。				13
	定期考査						1
	第3章～第5章より、防水工事、屋根工事 【知】防水工事、屋根工事について知識と技術を身につけ、仕上げ材料の違いによる特徴や施工の流れを理解させる。 【思】防水工事、屋根工事について思考し，建築物の下地や仕上げ材の違いに応じた適切な判断ができる能力を身につけさせる。 【学】防水工事、屋根工事について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけさせる。	第3章　木構造の工事 4. 外部仕上げ 第4章　鉄筋コンクリート構造の工事 4. 外部仕上げ 第5章　鉄筋コンクリート構造の工事 5. 仕上げ	【知】防水工事、屋根工事について知識と技術を身につけ、仕上げ材料の違いによる特徴や施工の流れを理解している。 【思】防水工事、屋根工事について思考し，建築物の構造や仕上げ材の違いに応じた適切な判断ができる能力を身につけている。 【学】防水工事、屋根工事について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけている。				13
	第3章～第5章より、 左官工事、タイル・張り石工事 【知】左官工事、タイル・張り石工事について知識と技術を身につけ、仕上げ材料の違いによる特徴や施工の流れを理解させる。 【思】左官工事、タイル・張り石工事について思考し，建築物の下地や仕上げ材の違いに応じた適切な判断ができる能力を身につけさせる。 【学】左官工事、タイル・張り石工事について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけさせる。	第3章　木構造の工事 4. 外部仕上げ 5. 内部仕上げ 第4章　鉄筋コンクリート構造の工事 4. 外部仕上げ 5. 内部仕上げ 第5章　鉄筋コンクリート構造の工事 5. 仕上げ	【知】左官工事、タイル・張り石工事について知識と技術を身につけ、仕上げ材料の違いによる特徴や施工の流れを理解している。 【思】左官工事、タイル・張り石工事について思考し，建築物の下地や仕上げ材の違いに応じた適切な判断ができる能力を身につけている。 【学】左官工事、タイル・張り石工事について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけている。				
	定期考査						1
3学期	**第3章～第5章より、 内装工事、断熱工事** 【知】内装工事、断熱工事について知識と技術を身につけ、仕上げ材料の違いによる特徴や施工の流れを理解させる。 【思】内装工事、断熱工事について思考し，建築物の下地や仕上げ材の違いに応じた適切な判断ができる能力を身につけさせる。 【学】内装工事、断熱工事について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけさせる。	第3章　木構造の工事 4. 外部仕上げ 5. 内部仕上げ 第4章　鉄筋コンクリート構造の工事 4. 外部仕上げ 5. 内部仕上げ 第5章　鉄筋コンクリート構造の工事 5. 仕上げ	【知】内装工事、断熱工事について知識と技術を身につけ、仕上げ材料の違いによる特徴や施工の流れを理解している。 【思】内装工事、断熱工事について思考し，建築物の下地や仕上げ材の違いに応じた適切な判断ができる能力を身につけている。 【学】内装工事、断熱工事について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけている。				17
	定期考査						1
						合計	70

［表記の略称］知識･技能【知】､思考･判断･表現【思】、学びに向かう力､人間性等【学】主体的に学習に取り組む態度【態】

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工　業	科　目	課題研究	単位数	3
対象学年・組・コース	第　4　年　1　組	コース	自動車　電　気　建　築		
教科担当者					
使用教科書					
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の建築分野について総合的に理解するとともに、関連する建築技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	工業に関する課題を自らで発見し、工業人に求められる倫理観を踏まえ具体的、合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	工業人として必要な豊かな人間性を育み、社会の構築を目指して自ら学びを模索し、工業の発展に主体的かつ共同的に取り組む態度を養う。

科目『　課題研究　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の社会的意義を理解し、人間関係の大切さを学び、関連する工業技術を身に付ける。	工業技術の課題を自らで発見し、多感的な根拠に基づき、技術の発展に対応できる力を養う。	広い視野で技術を自ら学びために必要な力を模索し、その発展に積極的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 単元「環境技術」課題研究 B 単元「総合技術」課題研究 ・建築への興味関心を高め、自らで課題を決め、課題設定の方法を理解する。【知】 ・工業の意義や役割を理解し、社会における建築の発展を図る創造的な態度を育てる。【思】 ・総合的な工業技術に関する知識や技術を習得し、社会に必要な安全作業や総合環境など総合的な学習態度を育てる。【学】 週１の3校時で年間１５週の実習を実施する。	A 単元 ・建築における安全作業を学び、建築に対する積極的な態度を学ぶ【知】 ・製作・研究を中心に収集した情報の分析・検討について学ぶ【思】 ・収集・解析することから、社会性を学び総合的な環境について習得する【学】 B 単元 ・プレゼン能力の構築を目標にする【知】 ・自らか研究した内容を分析し、的確な資料分析能力を構築する【思】 ・社会に必要なコミュニケーションとしてプレゼンテーション能力を身に着ける【学】	・安全作業を建築の基礎から応用までを理解することにより建築の構築を習得する。【知】 ・自らの課題に対し、具体的な課題解決方法を模索し、知識の総合化、系統化が習得できているか判断する【思】 ・文献調査から作成したプレゼンテーション資料の解析及び実際に研究した内容が建築分野にふさわしいかどうか判断する【学】	○	○	○	36
2学期							42
3学期							27
							合計 105

［表記の略称］知識･技能【知】、思考･判断･表現【思】、学びに向かう力、人間性等【学】

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工 業	科　目	建築製図	単位数	2
対象学年・組・コース	第　4　年　1　組	コース	自動車　電気　建築		
教科担当者					
使用教科書	建築設計製図(実教出版)				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　建築製図　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
工業の各分野に関する製図について日本産業規格及び国際標準化機構規格を踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	製作図や設計図に関する課題を発見し，工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	工業の各分野における部品や製品の図面の作成及び図面から製作情報を読み取る力の向上を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元名「2階建て木造専用住宅の設計」 【知識及び技能】 ２階建専用住宅の設計条件や設計の要点を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 設計の要点について課題を発見し、設計製図の具体的な流れを踏まえながら課題を解決する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 設計条件や設計の要点および設計製図の具体的な流れについて自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・エスキース	２階建専用住宅の設計条件や設計の要点を理解し、設計製図の具体的な流れの理解に意欲的に取り組む知識・技能を身につけている。【知】 ２階建専用住宅の設計条件や設計の要点を常に思考・判断し，設計製図の具体的な流れの理解に意欲的に取り組む行動力を身につけている。【思】 設計条件や設計の要点に興味・関心をもち，設計製図の具体的な流れの理解に意欲的に取り組む態度を身についている。【主】	○	○	○	12
1学期 2学期	単元名「2階建て木造専用住宅の設計」プレゼンテーション） 【知識及び技能】 プレゼンテーションを構成する要素について項目や内容の理解を深め、コンセプトをしっかり伝えるための方法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの表現手法の種類と特徴を理解し、目的に応じた適切な手法を選択できる能力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 過去の作図例を参考ににプレゼンテーションボードを作成してみることで、レイアウトや大きさなどの全体の流れについて自ら学び、取り組む態度を養う。	指導項目 ・１階平面図兼配置図 ・２階平面図 ・立面図 ・断面図 ・設計趣旨 ・設計概要 ※ 上記内容をA2用紙1枚にまとめさせる。	プレゼンテーションの種類や構成する要素について興味・関心をもち、、コンセプトをしっかり伝えようと意欲的に取り組むとともに、実践的な知識・技能を身につけている。【知】 プレゼンテーションの種類や構成する要素について興味・関心をもち、、コンセプトをしっかり伝えようと意欲的に取り組むとともに、実践的な行動力を身につけている。【思】 プレゼンテーション図面の大きさや配置、表現方法などに興味・関心をもち、プレゼンテーションボードを作成を通して具体的な流れの理解に意欲的に取り組む態度を身についている。【主】				26
2学期 3学期	単元名「ＪＷ－ＣＡＤ」 【知識及び技能】 CADの概要・特色、活用例、操作方法、CADの適切な表現を理解するとともに、実践的な知識・技術を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 CADの概要・特色、活用例を常に思考・判断するとともにCADの適切な表現における実践的な行動力を身につけさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 CADの概要・特色、活用例に興味・関心を持ち、操作方法の習得およびCADの適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	「木造平屋建平面図の作成」 ・建築CADの種類 ・JW-CADの基本 ・作図の練習 ・レイヤ・レイヤグループ ・平面図の作成 ・立面図の作成 ・断面図の作成	【知】CADの概要・特色、活用例、操作方法、CADの適切な表現を理解するとともに、実践的な知識・技術を身につけている。 【思】CADの概要・特色、活用例を常に思考・判断するとともCADの適切な表現に実践的な行動力を身につけている。 【態】CADの概要・特色、活用例に興味・関心を持ち、操作方法の習得およびCADの適切な表現に意欲的に取り組む態度を身につけている。				32
	定期考査						
［表記の略称］知識･技能【知】、思考･判断･表現【思】、主体的に学習に取り組む態度【態】							70

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工　業	科　目	建築計画	単位数	3
対象学年・組・コース	第　4　年	1　組	コース	自動車　電気　建築	
教科担当者					
使用教科書	建築計画(実教出版)				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力､判断力､表現力等】	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力､人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　建築計画　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
建築物の計画について住空間の快適性やエネルギーを踏まえて理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。	建築物の計画に関する課題を発見し，技術者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。	安全で快適な建築物を計画する力の向上を目指して自ら学び，建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**第1章　建築と環境** 【知】建築物を取りまく環境をはじめ、気候の諸要素、室内空気汚染、換気・通風などを理解させる。 【思】建築物を取りまく環境をはじめ、気候の諸要素、室内空気汚染、換気・通風などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】建築物を取りまく環境をはじめ、気候の諸要素、室内空気汚染、換気・通風などに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第1章　建築と環境** 第１節　建築と環境の概要 第２節　屋外環境と室内環境 第３節　換気と通風	**第1章　建築と環境** 【知】建築物を取りまく環境をはじめ、気候の諸要素、室内空気汚染、換気・通風などを理解している。 【思】建築物を取りまく環境をはじめ、気候の諸要素、室内空気汚染、換気・通風などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】建築物を取りまく環境をはじめ、気候の諸要素、室内空気汚染、換気・通風などに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。	○	○	○	18
	第6章　建築の移り変わり 【知】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について理解させる。 【思】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第6章　建築の移り変わり** 第２節　西洋の建築（古代から近世まで）	**第6章　建築の移り変わり** 【知】西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築の移り変わりとそれぞれの時代の建築様式の特徴を理解させる。 【思】西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築の移り変わりとそれぞれの時代の建築様式の特徴について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築の移り変わりとそれぞれの時代の建築様式の特徴について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				
	定期考査						1
	第1章　建築と環境 【知】室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明などを理解させる。 【思】室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明などに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第1章　建築と環境** 第４節　伝熱と結露 第５節　日照と日射 第６節　採光と照明 第７節　色彩 第８節　音響	**第1章　建築と環境** 【知】室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明などを理解している。 【思】室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明などに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				19
	第6章　建築の移り変わり 【知】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について理解させる。 【思】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第6章　建築の移り変わり** 第２節　西洋の建築（古代から近世まで）	**第6章　建築の移り変わり** 【知】西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築の移り変わりとそれぞれの時代の建築様式の特徴を理解している。 【思】西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築の移り変わりとそれぞれの時代の建築様式の特徴について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】西洋の古代から近世にいたるまでの代表的な地域・時代の建築の移り変わりとそれぞれの時代の建築様式の特徴について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけて				
	定期考査						1
2学期	**第2章　住宅の計画** 【知】住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、計画の進め方などを理解させる。 【思】住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、計画の進め方などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、計画の進め方などに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第2章　住宅の計画** 第１節　住宅の意義 第２節　住宅計画の進め方 第３節　全体計画 第４節　各部の計画 第５節　バリアフリーとユニバーサルデザイン	**第2章　住宅の計画** 【知】住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、計画の進め方などを理解している。 【思】住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、計画の進め方などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】住宅の役割・種類をはじめ、住宅を構成する基本的な空間や住宅の性能、計画の進め方などに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				20
	第6章　建築の移り変わり 【知】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について理解させる。 【思】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第6章　建築の移り変わり** 第１節　日本の建築（原始から近世まで）	**第6章　建築の移り変わり** 【知】日本の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりをはじめ、それぞれの時代の建築様式の特徴を理解している。 【思】日本の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりをはじめ、それぞれの時代の建築様式の特徴について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】日本の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりをはじめ、それぞれの時代の建築様式の特徴について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				
	定期考査						1
	第4章　都市と地域の計画 【知】都市における都市計画の目的や理念をはじめ、都市計画の基本的なしくみなどを理解させる。 【思】都市における都市計画の目的や理念をはじめ、都市計画の基本的なしくみなどについて思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】都市における都市計画の目的や理念をはじめ、都市計画の基本的なしくみなどに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第4章　都市と地域の計画** 第１節　都市と都市計画 第２節　都市計画制度と都市計画法 第３節　建築と地域の計画 第４節　地域の計画とまちづくり	**第2章　住宅の計画** 【知】都市における都市計画の目的や理念をはじめ、都市計画の基本的なしくみなどを理解している。 【思】都市における都市計画の目的や理念をはじめ、都市計画の基本的なしくみなどについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】都市における都市計画の目的や理念をはじめ、都市計画の基本的なしくみなどに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				20
	第6章　建築の移り変わり 【知】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について理解させる。 【思】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第6章　建築の移り変わり** 第１節　日本の建築（原始から近世まで）	**第6章　建築の移り変わり** 【知】日本の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりをはじめ、それぞれの時代の建築様式の特徴を理解している。 【思】日本の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりをはじめ、それぞれの時代の建築様式の特徴について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】日本の原始から近世にいたるまでの住宅や宗教建築、都市の移り変わりをはじめ、それぞれの時代の建築様式の特徴について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				
	定期考査						1
3学期	**第5章　建築設備の計画** 【知】建築設備の目的や、設備計画の基本的な事項、省エネルギーに関する制度や基準などを理解させる。 【思】建築設備の目的や、設備計画の基本的な事項、省エネルギーに関する制度や基準などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】建築設備の目的や、設備計画の基本的な事項、省エネルギーに関する制度や基準などに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第5章　建築設備の計画** 第１節　建築設備の概要 第２節　給排水・衛生設備 第３節　空気調和・換気設備 第４節　電気設備 第５節　防災設備 第６節　搬送設備	**第1章　建築と環境** 【知】建築設備の目的や、設備計画の基本的な事項、省エネルギーに関する制度や基準などを理解している。 【思】建築設備の目的や、設備計画の基本的な事項、省エネルギーに関する制度や基準などについて思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】建築設備の目的や、設備計画の基本的な事項、省エネルギーに関する制度や基準などに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				23
	第6章　建築の移り変わり 【知】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について理解させる。 【思】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について思考・判断し、表現できる能力を身につけさせる。 【学】日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりと各時代の歴史的な事象との関連について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	**第6章　建築の移り変わり** 第３節　近代の建築 第４節　現代の建築	**第6章　建築の移り変わり** 【知】産業革命以降および第二次世界大戦以降の世界と日本の建築と、その時代背景および建築的特徴について理解している。 【思】業革命以降および第二次世界大戦以降の世界と日本の建築と、その時代背景および建築的特徴について思考・判断し、表現できる能力を身につけている。 【学】業革命以降および第二次世界大戦以降の世界と日本の建築と、その時代背景および建築的特徴について関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身につけている。				
	定期考査						1
						合計	105

［表記の略称］知識･技能【知】、思考･判断･表現【思】、学びに向かう力､人間性等【学】主体的に学習に取り組む態度【態】

令和７年度　都立総合工科高等学校　定時制課程　年間授業計画

教　科	工 業	科　目	建築法規	単位数	2
対象学年・組・コース	第　4　年　1　組	コース	自動車　電気　建築		
教科担当者					
使用教科書	建築計画(実教出版)				
使用補助教材	なし				

教科『　工業　』の目標	
【知 識 及 び 技 能】	工業の各分野について体系的･系統的に理解するとともに，関連する技術を身に付けるようにする。
【思考力，判断力，表現力等】	工業に関する課題を発見し，職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力，人間性等】	職業人として必要な豊かな人間性を育み，よりよい社会の構築を目指して自ら学び，工業の発展に主体的かつ共働的に取り組む態度を養う。

科目『　建築法規　』の目標		
【知識及び技能】	【思考力，判断力，表現力等】	【学びに向かう力，人間性等】
建築関係法規について法的な側面から建築物の安全性や快適性を踏まえて理解するようにする。	法的な側面から建築物に関する課題を発見し，技術者として法的な根拠に基づき解決する力を養う。	安全で安心な建築物を計画，設計，施工及び管理する力の向上を目指して自ら学び，建築の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	「建築法規のあらまし」 【知】建築基準法の体系と構成，基本的な用語の定義や面積・高さ・階数などの算定方法を理解させる。 【思】建築基準法の体系と構成，基本的な用語の定義や面積・高さ・階数などの算定方法について思考・判断し，表現できる能力を身につけさせる。 【学】建築基準法の体系と構成，基本的な用語の定義や面積・高さ・階数などの算定方法に関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	第１章　建築法規のあらまし 第４節　建築基準法の基本用語	・建築基準法の基本的な用語の定義や面積・高さ・階数などの算定方法を理解し，実際的な事例に適用することができる。【知】 ・用語の定義や面積・高さ・階数等の算定方法の重要性や背景について思考し，事例に応じた適用を判断することができる。【思】 ・建築基準法における基本的な用語と面積・高さ・階数などの算定基準に関心をもち，建築法規のほか建築計画や設計の学習に役立てようとしている。【態】	○	○	○	6
	「単体規定」 【知】建築物に関する居室の採光と換気，天井と床の高さ，階段などの規定に関する算定方法を理解させる。 【思】建築物に関する居室の採光と換気，天井と床の高さ，階段などの規定に関する算定方法について思考・判断し，表現できる能力を身につけさせる。 【学】建築物に関する居室の採光と換気，天井と床の高さ，階段などの規定に関する算定方法に関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	第２章　個々の建築物にかかわる規定 第１節　一般構造・建築設備についての規定	・居室の採光と換気，天井と床の高さ，階段などの規定に関する算定能力を身につけ，建築の計画や設計に活用することができる。【知】 ・居室の採光と換気，天井と床の高さ，階段などに関する規定と建築の計画や設計とのかかわりについて思考し，的確に表現できる。【思】 ・居室の採光と換気，天井と床の高さ，階段などに関する規定の背景や諸問題に関心をもち，建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。【態】				6
	定期考査						1
	「単体規定」 【知】建築物の構造や規模に基づく構造計画や計算方法と各構造種別ごとの法規制について理解させる。 【思】建築物の構造や規模に基づく構造計画や計算方法と各構造種別ごとの法規制について思考・判断し，表現できる能力を身につけさせる。 【学】建築物の構造や規模に基づく構造計画や計算方法と各構造種別ごとの法規制に関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	第２章　個々の建築物にかかわる規定 第２節　構造強度についての規定	・建築物の構造や規模に基づく構造計画や計算方法と各構造種別ごとの法規制について理解し，事例に応じた設計に活用することができる。【知】 ・建築物の構造や規模と構造計画や計算方法のかかわりなどについて思考し，事例に応じて構造基準の適用を判断することができる。【思】 ・構造計画・設計のプロセスと構造計算の必要性や方法などについて関心をもち，建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。【態】				6
	「単体規定」 【知】建築基準法と消防法にかかわる防火と避難に関する規定をその背景を含めて理解させる。 【思】建築基準法と消防法にかかわる防火と避難に関する規定について思考・判断し，表現できる能力を身につけさせる。 【学】建築基準法と消防法にかかわる防火と避難に関する規定に関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	第２章　個々の建築物にかかわる規定 第３節　防火と避難についての規定	・建築基準法と消防法にかかわる防火と避難に関する規定をその背景を含めて理解し，安全対策を建築の計画や設計に活用することができる。【知】 ・防火・避難・消防活動の各規定の背景について説明することができる。【思】 ・建築基準法と消防法の防火と避難に関する規定の背景や諸問題に関心をもち，建築の計画や設計の学習に役立てようとしている。【態】				6
	定期考査						1
2学期	「集団規定」 【知】都市計画で指定される区域，地域地区における用途規制・構造規制について理解させる。 【思】都市計画で指定される区域，地域地区における用途規制・構造規制について思考・判断し，表現できる能力を身につけさせる。 【学】都市計画で指定される区域，地域地区における用途規制・構造規制に関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	第３章　良好な都市環境をつくるための規定 第１節　都市計画法と建築基準法 第２節　土地利用	・都市計画で指定される区域，地域地区における用途規制・構造規制について理解し，事例に応じた設計に活用することができる。【知】 ・都市計画で指定される区域，地域地区の目的や都市環境とのかかわりや効果などについて思考を深め，建築の計画や設計の学習において的確に表現できる。【思】 ・都市計画で指定される区域や地域地区について，土地利用の観点から目的や背景に関心をもち，建築の計画や設計などの学習に役立てようとしている。【態】	○	○	○	4
	「集団規定」 【知】用途地域と連動する道路と敷地のかかわり，建ぺい率や容積率，各種高さ制限の算定方法を理解させる。 【思】用途地域と連動する道路と敷地のかかわり，建ぺい率や容積率，各種高さ制限について思考・判断し，表現できる能力を身につけさせる。 【学】用途地域と連動する道路と敷地のかかわり，建ぺい率や容積率，各種高さ制限に関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	第３章　良好な都市環境をつくるための規定 第３節　道路と敷地 第４節　密度に関する規定 第５節　形態に関する規定 第６節　良好なまちづくり	・都市計画区域内における道路と敷地にかかわる規制，建ぺい率，容積率，高さ制限について理解し，建築の計画や設計に的確に活用することができる。【知】 ・道路と敷地とのかかわり，建蔽率や容積率による市街地の密度の規制，各種高さ制限などの形態の規制と都市環境とのかかわりや効果などについて思考し，事例に応じて規定の適用を判断することができる。【思】 ・建築基準法に基づくさまざまな建築制限に関心をもち，建築の計画や設計などの学習に役立てようとしている。【態】				9
	定期考査						1
	「各種手続き」 【知】建築基準法上の手続きの流れ，着工前の手続きや確認申請を必要とする建築物の判別方法を理解させる。 【思】建築基準法上の手続きの流れ，着工前の手続きや確認申請を必要とする建築物の判別方法について思考・判断し，表現できる能力を身につけさせる。 【学】建築基準法上の手続きの流れ，着工前の手続きや確認申請を必要とする建築物の判別方法に関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	第４章　手続きなどの規定 第１節　手続きのあらまし 第２節　手続きに関する機関 第３節　着工前の手続き	・法手続きにかかわる諸機関のあらましと，建築主事の役割，建築の着工前における手続きや確認申請を必要とする建築物の判別方法を理解している。【知】 ・法手続きに関係する諸機関と役割，建築の着工前に必要となる建築確認について思考を深め，建築の計画や設計の学習において的確に表現できる。【思】 ・法手続きに関係する諸機関，確認申請について関心をもち，主体的に学習に取り組んでいる。【態】				6
	「各種手続き」 【知】工事中や工事完了時および使用中における各種手続きや違反建築物に対する措置のあらましなどを理解させる。 【思】工事中や工事完了時および使用中における各種手続きや違反建築物に対する措置のあらましについて思考・判断し，表現できる能力を身につけさせる。 【学】工事中や工事完了時および使用中における各種手続きや違反建築物に対する措置のあらましに関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	第４章　手続きなどの規定 第４節　工事中の手続き 第５節　使用中の手続き 第６節　違反建築物などに対する措置 第７節　その他の制度	・建築物の工事中や工事完了時および使用中における各種手続きや違反建築物に対する措置のあらましなどを理解している。【態】 ・建築物の工事中や工事完了時および使用中の各種手続きや違反建築物に対する措置の必要性について思考を深め，建築の計画や設計の学習において的確に表現できる。【思】 ・建築物の工事中・工事完了時・使用中における各種手続きや違反建築物に対する措置について関心をもち，主体的に学習に取り組んでいる。【態】				7
	定期考査						1
3学期	「関係法規」 【知】建築士法や建設業法など，設計や施工の業務とかかわりの深い関連法規の内容と各種法規と建築物の安全性・快適性・省エネ性などとのかかわりを理解させる。 【思】建築士法や建設業法など，設計や施工の業務とかかわりの深い関連法規の内容と各種法規と建築物の安全性・快適性・省エネ性について思考・判断し，表現できる能力を身につけさせる。 【学】建築士法や建設業法など，設計や施工の業務とかかわりの深い関連法規の内容と各種法規と建築物の安全性・快適性・省エネ性に関心をもち，学習内容の習得に向けて意欲的に取り組ませる。	第５章　各種の関係法規 第１節　設計と工事の段階にかかわる法規 第２節　良好な建築を促進する法規 第３節　その他の法規	・建築士法や建設業法など，設計や施工の業務とかかわりの深い関連法規の内容と各種法規と建築物の安全性・快適性・省エネ性などとのかかわりを理解している。【知】 ・建築士法や建設業法などと建築の企画や設計・工事との実際的なかかわり，建築物の安全性・快適性・省エネ性とのかかわりについて思考し，各種の事例に対して適切な判断能力を身につけ，建築計画や設計・施工の学習において的確に表現できる。【思】 ・建築士法や建設業法，建築物の安全性・快適性・省エネ性を促進する関連法規の目的や効果について関心をもち，建築の計画や設計・施工の学習に役立てようとしている。【態】				15
	定期考査						1
						合計	70

［表記の略称］知識･技能【知】，思考･判断･表現【思】，学びに向かう力，人間性等【学】主体的に学習に取り組む態度【態】